

おぢや市議会 だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 102
令和 3.10.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

- 第3回定例会議決結果
…………… P 2～3
- 常任委員会報告 …… P 3～4
- 一般質問…………… P 5～9
- 議会日誌…………… P 10
- 雪あかり、編集後記…… P 10

— 主な掲載内容 —

投稿者：星野 司さん 撮影場所：三仏生

タイトル「秋の花」 コスモスが咲き始めると秋だなあ
と思います。

第3回定例会 議決結果 (9月1日から9月22日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議 案 第44号	小千谷市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について	全会一致	原案可決
	議 案 第45号	小千谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議 案 第46号	小千谷市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議 案 第47号	小千谷市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議 案 第48号	小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議 案 第49号	小千谷市露店市場管理条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
予 算	議 案 第50号	令和3年度小千谷市一般会計補正予算(第6号)について	〃	〃
	議 案 第51号	令和3年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
	議 案 第52号	令和3年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
	議 案 第53号	令和3年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
	議 案 第54号	令和3年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)について	賛成多数	〃
	議 案 第67号	令和3年度小千谷市一般会計補正予算(第7号)について	全会一致	〃
決 算	議 案 第55号	令和2年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認 定
	議 案 第56号	令和2年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	〃
	議 案 第57号	令和2年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
	議 案 第58号	令和2年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	〃
	議 案 第59号	令和2年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	〃
	議 案 第60号	令和2年度小千谷市ガス事業会計の利益の処分及び決算認定について	賛成多数	原案可決定 認 定
	議 案 第61号	令和2年度小千谷市水道事業会計の欠損の処理及び決算認定について	全会一致	〃
	議 案 第62号	令和2年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定について	賛成多数	〃
	議 案 第63号	令和2年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について	〃	〃
その他	議 案 第41号	専決処分について(令和3年度小千谷市一般会計補正予算(第3号))	全会一致	承 認
	議 案 第42号	専決処分について(令和3年度小千谷市一般会計補正予算(第4号))	〃	〃
	議 案 第43号	専決処分について(令和3年度小千谷市一般会計補正予算(第5号))	〃	〃
	議 案 第64号	小千谷市道路線の認定について	〃	原案可決
	議 案 第65号	小千谷市道路線の廃止について	〃	〃
	議 案 第66号	小千谷市道路線の変更について	〃	〃
	議 案 第68号	小千谷市教育委員会委員の任命について[吉井純子氏]	〃	同 意
発 議	発 議 案 第4号	コロナ禍において私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書	〃	原案可決
	発 議 案 第5号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	〃	〃
	発 議 案 第6号	豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書	〃	〃
請 願	請 願 第2号	「コロナ禍において私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	みなし	採 択
	請 願 第3号	コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める請願	賛成少数	不 採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採択したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

議員賛否の状況（採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	阿部守男	平澤智	上村行雄	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	森本恵理子	住安康一	内山博志	佐藤隆一	吉崎進	久保田陽一	長谷川有理	田中淳	山賀一雄	本田剛
議案第54号	原案可決	10	5	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	-
議案第55号	認定	12	3	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	-
議案第58号	認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
議案第60号	原案可決 認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
議案第62号	原案可決 認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
議案第63号	原案可決 認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
請願第3号	不採択	4	11	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	-

※ ○は賛成、×は反対、議長（本田剛）は採決に加わりません。



常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 森本 恵理子

本委員会に付託されました議案第44号から議案第50号まで、議案第54号、議案第55号、議案第60号から議案第63号まで、及び請願第2号の以上14件につきまして審査した結果、議案13件について原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。また請願1件は採択すべきものと決しました。

委員会での主な意見・討論

○議案第54号 令和3年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第一号)

本案は、ガス事業民営化を検討する際の資料作成等業務委託料として1400万円を計上するものです。

意見 資料作成委託業務に関して、あり方検討委員会が民営化が望ましい理由を示しているが、その理由の裏付けをきちんとしていただきたい。検証のために更なる詳しい資料を含めてもらいたい。
討論 賛成 あり方検討委員会に

よる答申後のステップとして詳しい資料データが必要。今回の委託により作られた資料を基に、民営化か公営継続かの判断をしていかなければならない。

討論 反対 調査費用をかけて行う前に市民と十分な議論をし、結論を得てから調査するのが筋では。
○議案第55号 令和2年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定

・衛生費のごみ処理費について
意見 埋め立てごみを市外に搬出している現状がある。リサイクル率を抜本的に引き上げる検討をしていたいただきたい。同時に再生可能エネルギーの普及促進にも具体的に目標を示し、進めていただきたい。

・商工費の観光費について
意見 観光客数の計測方法を再検討していただきたい。また、今後観光協会と連携あるいは体制強化を踏まえて、新しい時代の観光事業計画を作り上げていただきたい。
○議案第60号 令和2年度小千谷市ガス事業会計の利益の処分及び決算認定
意見 民営化の様々な検討がされている中で今後もきちんとした実

態を反映する努力をしていただき
たい。

討論 反対 コロナ禍であり、市民の負担増になった点では反対。議案第61号から第63号も同様の理由で反対。

民生産業委員会

委員長 吉崎 進

本委員会に付託されました議案10件並びに請願1件について、慎重に審議した結果、議案についてはすべて可決すべきもの、請願については採択しないものと決しました。

○議案第51号 令和3年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

本案は過年度分返還経費を補正するものです。

○議案第52号 令和3年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

本案は給付積立金、過年度分返還金を補正するものです。

○議案第53号 令和3年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予

算(第1号)について

本案は後期高齢者医療広域連合納付金を補正するものです。

○議案第56号 令和2年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

本案は令和2年度小千谷市国民健康保険特別会計の決算を認定するものです。

○議案第57号 令和2年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

本案は令和2年度小千谷市介護保険特別会計の決算を認定するものです。

○議案第58号 令和2年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

本案は令和2年度小千谷市後期高齢者特別会計を認定するものです。

○議案第59号 令和2年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について

本案は令和2年度小千谷市工業団地事業特別会計を認定するものです。

○議案第64号 小千谷市道路線の認定について

本案は小栗田20号線を市道と認定するものです。

○議案第65号 小千谷市道路線の廃止について
本案は町裏2号線を廃止するものです。

○議案第66号 小千谷市道路線の変更について
本案は山田2号線を変更するものです。

○請願第3号 コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める請願について

本請願はコロナ禍で食べる事すらままならない人々が多数いる。米をはじめとする食料の配布が歓迎されている。食べられない人々がいる一方で米を作らせない。今こそ、政府の責任で行き場を失った農産物(米)を、困窮する国民に提供する支援施策を実施する時だ。という内容です。



市議会だよりをアプリで配信中



スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。最新号を発行日に自動でお届けします。ぜひご利用ください。

Android用



iPhone用



長谷川 有理 議員



新型コロナウイルス感染症対策について

質問 当市の爆発的な感染拡大を許してしまった課題や教訓は。

答弁 保健所から有症状で医療機関未受診や感染対策が十分でない環境での会食などの事例を聞いた。今後はワクチン接種の推進や感染防止情報の発信に努めたい。

質問 県と市との情報共有が少ない。国や県へ改善を要望すべき。

答弁 陽性者に関する県からの情報提供を市長会で要望しているが、出来ないと言っている。

質問 当市の感染拡大期に発熱の症状があってもPCR検査してもらえない実態があった。きちんと検査出来る体制や自費検査補助やインフルエンザにも備えた発熱外来設置を市として調整するべき。

答弁 県に伝えてもらいたい。

質問 ワクチン接種の副反応等の把握や支援を行っているのか。

答弁 接種後に健康被害がある場合、市が窓口となり、制度の相談等、支援をする。

人権・男女共同参画について

質問 当市の目標数値クリアは。

答弁 これまで育休取得した市男性職員4名。市管理職の女性割合は目標値15%を超え35.19%。審議会委員等の女性割合は目標値35%を下回る24.1%。環境作りに努める。

子ども・若者支援について

質問 ヤングケアラは当市にいないとの見解は誤りではないか。

答弁 情報が寄せられていない。

質問 新型コロナウイルス感染症禍の中、心身に不調をきたす子ども・若者への支援が重要だ。9月の自殺予防週間での当市の取り組みは。

答弁 自殺予防ゲートキーパー養成講座を開催するなど進めていく。

農業振興について

質問 新型コロナウイルス感染症禍での米需要喚起や支援を打ち出すべき。

答弁 ふるさと納税返礼品への参加や商品のブラッシュアップ奨励や輸出推進などを支援している。

質問 地場産給食や地場産使用率目標数値設定等今後の事業化を。

答弁 地産給食は努力しているが、新たな事業化は考えていない。

平澤 智 議員



地籍調査について

質問 今年度は平成、土川地区の地域が対象となっているが現時点での計画に対しての進捗状況については。

答弁 1区域あたり3年かかり、今年度は3つの区域で事業を実施しており、どの区域も概ね計画通りに進んでいる。

質問 地籍調査における境界決めは土地所有者が決定することとなっており十分双方納得を得たうえでの結果になっているのかどうか、問題の発生はどうだったか。

答弁 再立会いの申し出は現時点で1件のみであるが納得いただけると境界になるよう話し合いの場を設定する。

質問 今後筆界未定を防ぐために隣地間での紛争等について、仲裁窓口の開設等の可能性については。

答弁 市の地籍調査事業内で解決できない場合は、土地家屋調査士

と弁護士による裁判外紛争解決手続きや法務局の筆界特定登記官による筆界特定制度を紹介するなどにより問題解決に繋がるよう支援をしてゆく。

街路灯LED化推進について

質問 水銀灯は2020年6月末をもって製造、輸入が終了し入手することさえも困難になっており、LED化が急がれる現状となっている。LED推進に対して水銀灯の切替進捗状況等、現時点でどのような状況となっているか。

答弁 道路照明灯の更新については、不具合が発生したのから順次LED化を進めている。市管理の道路照明灯198基のうち35基をLED化済。

質問 中心市街地におけるアーケード照明や防犯灯等の設備更新や維持管理に対して防犯上からも地元地区負担以外でサポート体制等公的支援の考えは。

答弁 アーケード照明や防犯灯については当市の補助事業である、「商店街リノベーション促進事業」や「魅力ある商店街づくり支援事業」を活用してもらいたい。

市政の内容を聞く

一般質問

大矢 弘光 議員



成人年齢の引き下げと影響

質問 従前の成人式の成果と今後のイベント目的・意義について。

教育長答弁 大人としての自覚や社会参加を促し、家族や地域からの祝福と感謝の機会として開催。

質問 令和4年度の成人式の対象年齢と日程、名称について。

教育長答弁 前年度20歳を迎えた方を対象とし、5月3日を予定。名称については今後決定する。

質問 未成年への消費者教育の充実について。

教育長答弁 中学校では家庭科、高校では公民や家庭科において関連の授業に取り組んでいる。更なる充実を図るよう市内高校への情報提供等に努める。

新型コロナウイルス感染症急拡大で見えた市の情報提供について

質問 感染者の行動歴等の詳細情報などが公表できる情報範囲に

対する市民の理解について

答弁 新型コロナウイルス感染症に関する情報収集と公表については、患者に関する情報は感染症法に基づき県が収集し、国の基本方針に則り情報内容を県が決定している。なお、感染者の市内における居住地域や他者に感染させる可能性がない部分の行動歴については、原則として公表されない旨の理解を市民に求めているが、ホームページの記載方法など、今後も改善や修正を行っていく。

質問 8月のコロナ関連情報の緊急発信について、各媒体の効果をどう評価しているか。

答弁 緊急告知ラジオや動画配信について、多くの方からご覧いただき言葉がそのまま伝わることに意味があったと理解している。SNSでの情報発信について、プッシュ通知やリンク誘導もできる効果的な情報発信手段である。市HPページでの情報発信について、一万件を超える日が連続したことからも、情報手段として一定の認知がされていると認識している。

紙媒体は時間を要するが、漏れない情報手段と考えている。

山賀 一雄 議員



地域スポーツ振興の中核である「総合型地域スポーツクラブ」について

質問 市の総合計画、スポーツ推進計画には、総合型地域スポーツクラブを地域スポーツ推進の中核として位置付けているが、教育長の見解は。

教育長答弁 生涯スポーツ推進とともに、健康増進等に寄与する団体の一つであり、生涯スポーツ推進の中核となる団体と理解している。

質問 文部科学省、日本スポーツ協会は、総合型地域スポーツクラブ育成推進事業に対し、設立当時のような考えで関わっているのか。

教育長答弁 平成29年決定された第2期スポーツ基本計画では「量的拡大から質的な充実に転換」との目標を掲げていることから、設立当時とは視点を変えた、クラブの質をより高めるための施策が推

進されるものと考えている。

質問 総合型地域スポーツクラブである「こいこいスポーツクラブおぢや」が地域スポーツ推進の中核であるならば、市スポーツ協会、スポーツ少年団と同格であると認識しているが、教育長の見解は。

教育長答弁 スポーツ推進の一翼を担う団体という観点では同格と捉えられるが、設立趣旨、運営形態等を踏まえた場合、必ずしも同格ではないものと認識している。

質問 地域での運動教室等に参加する人たちの負担は、指導体制の如何を問わず均衡であるべきではないか。

教育長答弁 受益者負担を均等にすることは現段階では難しいが、スポーツ推進計画の方針や施策等について見直しを図る時期にきていますので、受益者負担についても検討をしていきたい。

質問 こいこいスポーツクラブおぢやは公的団体と見なされ、事務所開設に係る施設使用料は恒久的に免除されて然るべきと考えるが、**教育長答弁** 施設使用料の恒久的な免除は馴染まないが、収支決算等経営状況により協議はする。

森本 恵理子 議員



新型コロナウイルス感染症対策について

質問 災害時、感染が判明、もしくは濃厚接触者となり自宅療養をされている方の避難方法は。

答弁 特定の非公開の避難所を選定し、避難できるように、市への情報公開等を含め、県と協議、調整中。

質問 プレミアム商品券の支援策としての有効性、検証はされたか。

答弁 消費喚起や経済効果はあったが、店舗格差が生じたのも事実。今後も支援策の検証、改善を図りながら取り組んでいく。

コロナ禍での学校対応について

質問 早急にオンライン学習に対応できるように準備すべきでは。

教育長答弁 持ち帰りの基本方針と使用ルール作成等が必要だが、二学期中には家庭に持ち帰って学習ができるよう取り組んでいく。

質問 今後の感染状況によっては分散登校等の対応も必要では。

教育長答弁 分散登校やリモート授業等に対応できるよう進める。

質問 ワクチン副反応での発熱等による欠席は欠席扱いとしない等の対応が必要では。また、ワクチン接種後の運動を懸念する保護者が体育や部活を欠席させる場合も同様に、欠席扱いとしないことが必要と考えるが見解は。

教育長答弁 欠席扱いとしないこととして対応していく。

障がいのある無にとらわれな教育について

質問 総合支援学校ではその立地から南小中学校と交流が行われているが、本来、家庭のある地域での交流及び共同学習の機会を設けるべきと考えるが見解は。

教育長答弁 今後は他の小中学校においても、オンラインを活用しての交流などを進めていくことも大切であると受け止めている。

質問 総合支援学校の子どもたちが地域の学校に赴くだけでなく、地域の学校の子どもたちが支援学校に行き、互いの理解を深め、共に学ぶことも必要と考えるが。

教育長答弁 感染症収束後、交流活動が可能になるよう働きかける。

駒井 和彦 議員



異常気象への対応とSDGs推進について

質問 気候非常事態宣言の発令について。

答弁 政府・県等が既に宣言をしているが、いずれも気候変動が深刻化している為、その原因である地球温暖化の対策として脱炭素社会の実現を目指すものとしているもので、当市環境基本計画の趣旨と同じ方向性である。

長い間、非常事態を宣

言し続ける事よりも、本計画に基づく施策を実施していく事に注力したい。

質問 消費パイプの打ち水について。

答弁 地元の電気料負担が増えると言う現状をご理解頂けるのであれば、市として規制するものではない。国県

道の管理者としては、独自の事例も無く、可能と言う回答は無い。

質問 消費パイプ路線における、機械除雪導入の為の新ルール作成について。

答弁 従来通りのルールである。

ゲリラ豪雪の際はパトロール強化に加え、更に迅速な対応を図る為、デジカメ等で撮影した写真をメール等で送信する事で現況確認とし、除雪業者に依頼したい。担当除雪エリア外からの応援除雪は考えていない。

質問 SDGs 認知度アップと今後の取組について。

答弁 当市が行う様々な事業やイベントの実施に当たり、実施目的がSDGsの理念に通じるものである事を分かり易く伝える為、ステークホルダーと共に、啓発や、民間との連携により成果を上げていきたい。

質問 SDGs 推進本部設置について。

答弁 設置する考えはない。



市政の内容を聞く

一般質問

内山 博志 議員



ガス事業民営化について

質問 ガス事業の検討委員会は

「小千谷市ガス事業は早期に民営化することが望ましい」との答申を出した。理由に技術者確保が難しい、耐震化目標達成には多額の費用がかかる、エネルギーの自由化対応は難しい、公営の役割は果たした、などというものだった。市長は民間でできることは民間でという考えを示している。根底にはこの考えがあるのでないか。60年に渡り市営で困難をのりこえてきた。議会のチェックも入り経営の透明性確保、利益が出ればすべて利用者に還元された。民間になれば利益は株主にまわる。民営化は小千谷市にとって損失になると考える。ガス資産の安売りにつながりかねない。水道、下水事業など負の影響はいかがか。この事業は市民の多くが納得した上で進めるべきだ。市内管工事業者の反

対の声が議会に届けられている。市長の認識はいかがか。

答弁 譲渡価格や条件など判断し、議会にゆだねる。市民説明会を予定。公営事業が3事業になるのでコストの割高が見込まれ業務の見直しが必要。市内管工事業者の内容は承知していない。

住宅リフォーム等補助金について

質問 受付期間が短い。恒常的制度への変更の考えはないか。

答弁 大幅な延長は考えていない。経済状況を見て行っている。現在のところ恒常的制度としては考えていない。

保育園、小、中学校を安心安全な場所にするについて

質問 PCR検査を広く一定の間隔で行う必要があるのではないか。

答弁 抗原検査等を活用する。

避難所となる体育館の冷暖房設備について

質問 設置状況は。

答弁 総体は整備済み。移動式のものを購入し備蓄している。不足の場合はレンタルで対応する。

住安 康一 議員



プッシュ型行政サービスについて

質問 行政側から利用できるサー

ビスやイベント情報などの対象となつていて把握し、個別にお知らせする「プッシュ型行政サービス」を推進すべきと提案するが。

答弁 各学校のお知らせサービスや就労情報、防災アプリなど、いくつかのお知らせサービスを実施している。デジタル式では、お知らせの方法がメール、ウェブ、ライン等複数の選択肢があることや情報機器の利用が可能、かつ、登録してもらえらること、そしてシステム構築に係る費用対効果等、総合的に研究していく必要がある。

通学路の安全点検について

質問 雪による危険個所の対応は。

教育長答弁 学校から報告があつた際に、その都度、道路管理者に

対応を依頼する。
質問 通学路の安全点検について、更なる情報の公開が必要では。

教育長答弁 一部ホームページで公表している。今後は過去の一覧表も掲載し、継続事業の進捗等を確認できるように対応する。

災害時の避難所の開設及び運営

質問 防災士や市役所OBなどの「避難所支援員」任命について。

答弁 組織的に対応できる体制を維持・継続することが現実的な手段と考えるため、任命は考えていない。

質問 避難所に「避難所開設キット」を配置する提案について。

答弁 指定避難所の開設を任せられた方が開錠後、直ちに確認、準備すべき事項や避難所運営マニュアルなどを1セットにまとめたものを配置する。

質問 専用サイトの立ち上げで、避難所の見える化の推進を提案。

答弁 避難所開設時には、ホームページに専用ページを作り、避難所の開設状況や各避難所の収容人数に対する避難者数を知らせたい。

質問 学校体育館へのエアコン設置について検討すべき。

答弁 網戸の設置や移動式の大型冷房機、扇風機、ジェットヒーター、温冷風機を備蓄している。

佐藤 隆一 議員



ガス事業の売却について

質問 ガス事業のあり方検討委員会の答申が出されましたが、どのような見解をもっているのでしょうか。また、市として検討はしたのでしょうか。

答弁 答申は尊重しますが、諸々の条件を具体化する調査結果に基づいて事業譲渡の可否について最終的に判断します。

質問 答申では、今後10年間は黒字経営が見込めるとしているのに、なぜ補正予算を組んだのか。

答弁 今後、維持費に多額の資金を要するため、価格維持が難しくなると考えました。そのため詳しい資料作りのために補正予算を市議会に諮りました。

質問 財政面での検討ばかりでは不十分です。エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの飛躍的な普及を契機とした地方創生を進めるなど、多角的な検討が必要に

なっているのではないのでしょうか。
答弁 都市ガスは安全でクリーンなエネルギーであり、地産地消や地方創生に資するものと考えています。

質問 市長は売却が前提ではないとしています。補正の目的は何ですか。

答弁 燃料費調整制度やガス事業の完全自由化などにより、価格のメリットがなく、また、事業譲渡による安定供給を考慮しました。

質問 政府は地方創生の切り札としてエネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの普及を進める計画です。今後の進め方について、スケジュールを示してください。

答弁 調査と検討には1年〜2年を予定しています。

質問 片貝ガス田はエネルギー資源の全くない、わが国にあっては貴重な資源です。売却すべきではありません。見解をお聞かせします。
答弁 事業の実施にあたっては、答申の説明会を実施し、市民の意見を伺う機会を設けます。

本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。
本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。
市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。
また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。
(令和3年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。)

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

市議会を傍聴してみませんか

第4回定例会開催予定

11月30日(火) 第1日	議案上程説明	12月15日(水) 予備日	一般質問 (質問者が多い場合に開催)
12月2日(木)~6日(月)	各常任委員会で審査		
12月14日(火) 第2日	一般質問	12月17日(金) 最終日	委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局 (Tel.83-3505) へお問い合わせください。
委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

議会日誌 7月～9月

〈7月〉

- 5日 広聴広報委員会
- 12日 広聴広報委員会
- 19日 総務文教委員会委員と教育長及び教委職員との意見交換会
- 27日 議会改革推進委員会

〈8月〉

- 6日 民生産業委員協議会
- 10日 会派代表者会議
- 11日 新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
- 24日 議会改革推進委員会
- 〃 新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
- 25日 議会運営委員会

〈9月〉

- 1日 第3回定例会（本会議）
- 〃 広聴広報委員会
- 2日 常任委員会連合審査会
- 3日 常任委員会連合審査会
- 6日 総務文教委員会
- 7日 民生産業委員会
- 〃 手話言語条例検討委員会
- 16日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第2日）
- 17日 本会議（第3日）
- 〃 広聴広報委員会
- 22日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第4日）
- 〃 議員全員協議会
- 28日 議会改革推進委員会



金子 敏明
(四ツ子)

小千谷ライオンズクラブに知人の紹介で入会して9年。小千谷ライオンズクラブは歴史が長く、素晴らしい人が多いクラブだと感じたのが第一印象でした。

お話ししてみるとなお一層、皆様が気さくでライオンズクラブの活動においてそれぞれの熱い思いを抱いているのだと感じました。

ライオンズクラブで、素敵な先輩たちと出会うことが出来、また、いろいろな経験をさせて頂き、たくさんのお話を学ぶことが出来ました。

まだまだ、学ぶことがあるとは思いますが、ライオンズクラブに入会させていただいてから、私の人生は豊かになり、私自身の財産となっております。

当クラブは地域に根差した奉仕

活動に取り組んでおり、特に青少年を対象とした薬物乱用防止教室に力を入れています。

5年前から継続し、今では小学校9校（2020—21年度実績）で、年間約400人（延べ9クラス分）の児童・生徒を対象に開講しています。一人でも多くの生徒に、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」の合言葉を広め、安心安全な地域社会を築いていきたいと考えております。

また、近年は、病気や不慮の事故などで髪が抜けてしまった子ども達に髪の毛を寄附する「ヘアドネーション」の普及と理解向上の活動を行なっています。

当クラブは来年で、結成55周年をむかえます。図らずも私が第55代のクラブ会長を務めさせていただくことになりました。新型コロナウイルスの影響で、この2年間は、ライオンズの活動が余儀なく制限されておりましたが、ワクチン接種も進むに連れ、例年通りとはいかないこともありますが、小千谷ライオンズクラブの伝統をしっかり守って活動していきたいと思えます。

編集後記

9月1日から開催されていた定例市議会は、22日の最終日に執行部提案のすべての案件を可決して閉幕しました。新型コロナウイルス感染症拡大も、ワクチン接種の効果もあつて、ようやく下火に向かっています。ところで、たわわに実った稲穂の収穫作業もようやく終わり、農作業もひと段落といったところでしょうか。

10月3日に小千谷闘牛場の10月場所が開催され、家族を伴って久しぶりに迫力ある取り組みを観戦することができました。その帰りに金倉山頂に立ち寄ろうと向かっていた途中で、虫亀の男性と話す機会がありました。彼は、稲架場で環境整備を行っていたのですが、かつては稲架木に渡した荒縄に稲を架けての天日干しが当たり前で、時期になると赤とんぼが乱舞するといった光景がどこでも広がっていました。現在ではさみしいほどに少なくなっています。時代でしようか。

編集委員 佐藤 隆一